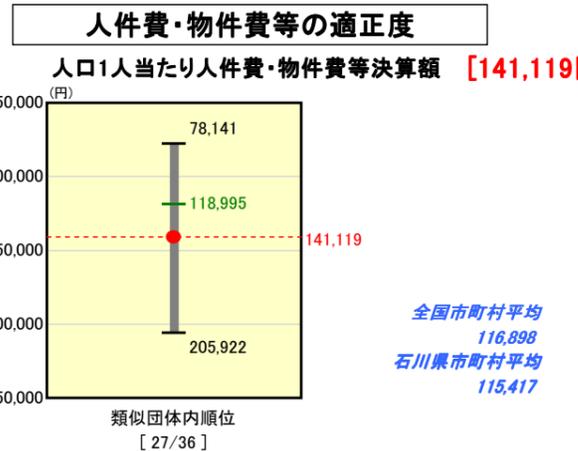
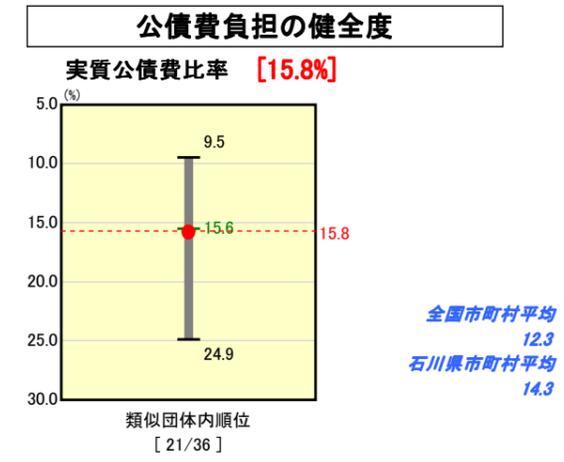
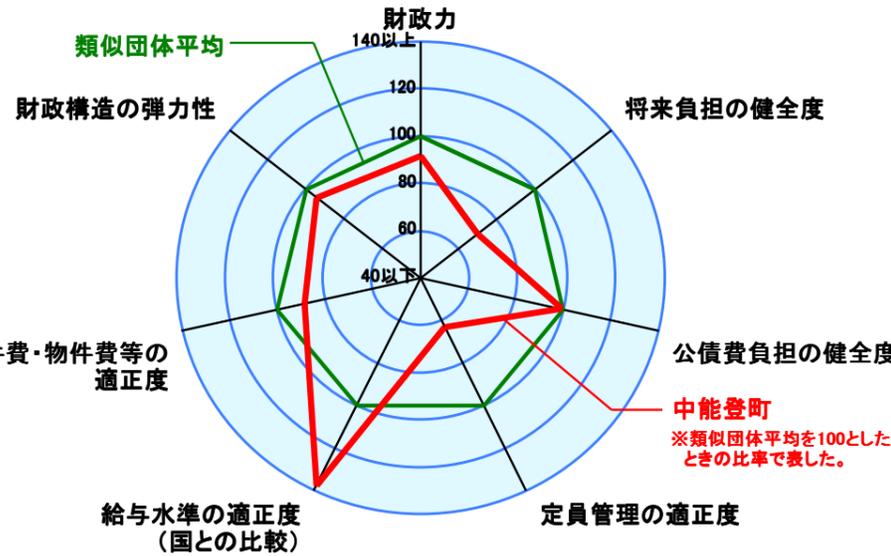
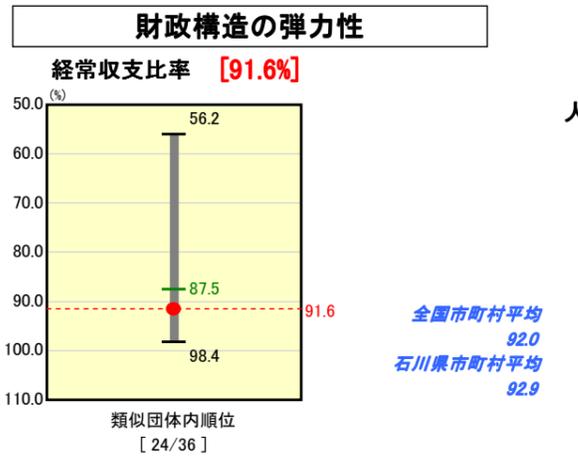
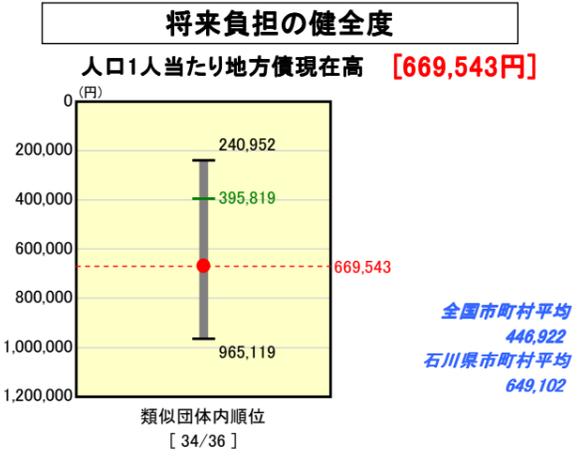
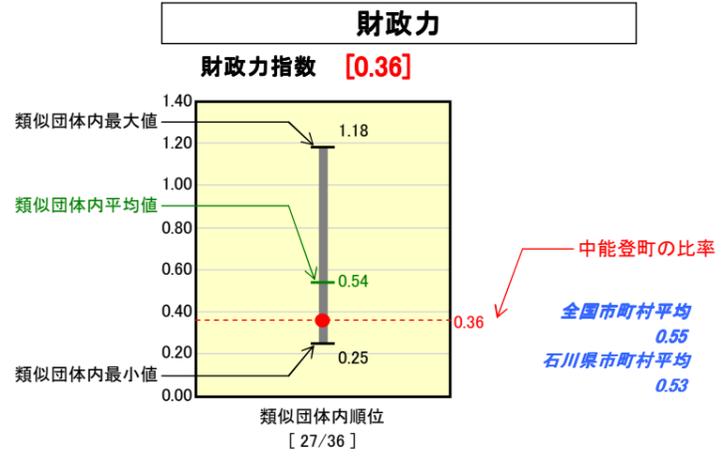


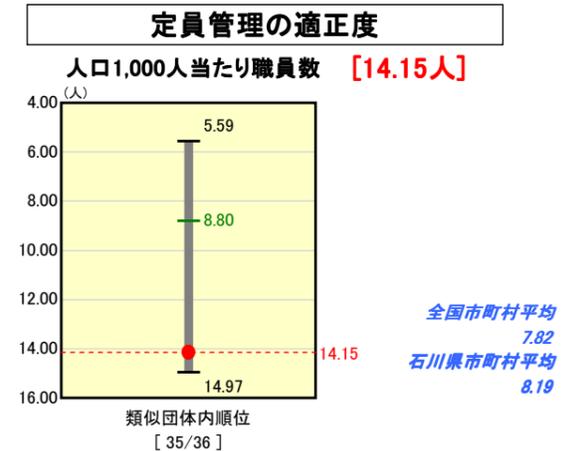
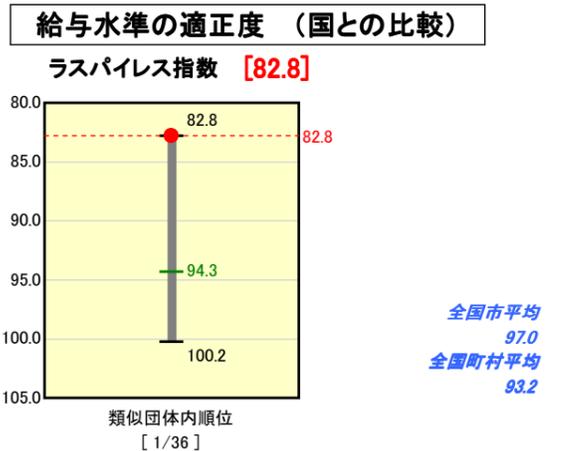
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 石川県 中能登町

人口	19,785 人(H20.3.31現在)
面積	89.36 km <sup>2</sup>
歳入総額	9,436,568 千円
歳出総額	9,335,473 千円
実質収支	18,444 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数：**  
人口減少や基幹産業である繊維産業の不振等により、財政基盤が弱く類似団体平均をかなり下回っている。平成17年3月1日合併により中能登町となったが、今後は活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

**経常収支比率：**  
前年よりも減少しているが、今後も事務事業の見直しを進めるとともに、すべての事務事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業について必要性、有効性、事業効果を点検し、計画的に廃止・縮小を進め、経常経費の削減を図る。

**ラスパイレス指数：**  
類似団体の中では最低水準ではあるが、今後も一層の給与の適正化に努める。

**実質公債費比率：**  
類似団体平均を若干上回っており、大型事業の償還があるため今後も上昇していくが、新規地方債の借入に際しては財源措置の高いものの借入に努め、財政の健全化を図る。

**人口1人当たり地方債現在高：**  
類似団体平均を上回っている主要な要因としては、合併特例債によるケーブルテレビ整備事業や合併まちづくり基金積立等であるが、新規地方債の発行の抑制により、類似団体平均の水準となるよう努める。

**人口1,000人当たり職員数：**  
合併により類似団体平均より職員数は多いが、今後は退職者の不補充等により適切な定員管理に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額：**  
類似団体平均と比較して、人件費・物件費等の適正度が高くなっている要因として、合併により職員数と類似の施設数が多く、今後は退職者の不補充と、施設の統廃合、指定管理者制度の導入などを進めて経費の抑制に努める。